

小児科医のサイレントベビー(症候群)

小児科医療が壊されるー

「外来管理加算問題」現場軽視の改訂に異議

河内小児科内科クリニック 院長・河内暁一

先月1日に中協から提案された外来管理加算算定要件の「5分ルール」は、ただでさえ厳しい小児科の状況にさらに拍車をかけようとしている。期待をもたせながら、結局裏切られ、小児科医の中には苦しい現状を訴えることを諦めた者も多い。このことに関して、弘前市の小児科医・河内暁一先生は次のように語った。

「どうせだめなんだ」

諦め、そして沈黙...

小児科医は赤ちゃんの泣き方でお腹がすいたのか、眠たのか、オムツがぬれているのか、どこが痛いのかなどおむね判断できます。赤ちゃんは自分の要求を鳴き声で伝えているのですが、最近泣かない赤ちゃんが増えていると心配する声があります。赤ちゃんが必死に泣き方を変えない赤ちゃんが増えていると心配する声があります。赤ちゃんが必死に泣き方を変えない赤ちゃんが増えていると心配する声があります。



1)患者の大半が乳幼児。昨日と今日で症状が全く違うことも多く、全身の診察は欠かせない。

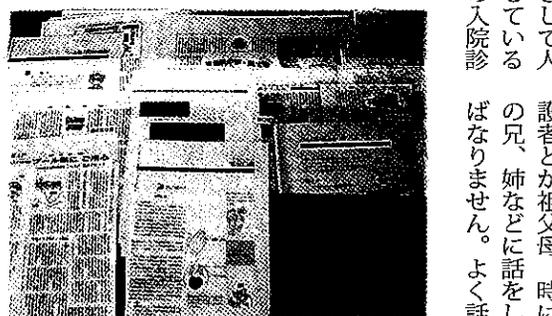
最近小児への虐待が増え続けている。子殺しなどの肉体的な暴力もありますが、いわゆる養育の放棄、ネグレクトも虐待の一種です。サイレントベビーは愛情遮断症候群とも言えますが、広い意味ではネグレクトがもたらす結果の

ようです。これと同じことが小児科医療にも当てはまるのではないのでしょうか。診療報酬改定のたびにネグレクトとあきらめてしまったサイレント小児科医が増えているように感じます。

「5分ルール」導入 効率よい診療が奪われる...



空腹でひもじい思いをしている時に哺乳瓶を見せられて、喜んで飲んでみると中身はミルクではなく白湯。さらに辛いことに、は、まわりの人ははたつきり中にはたつきりミルクが入っている。と、思っている。こんなことこの線り返してはやっていられないというのが本音です。実際の事例で説明しましょう。



2)パンフレットは、説明を受ける側の理解度に合わせ、さらに分かれている

理解力の足りない子どもの代わりに、付き添いの保護者に説明。満が10000円アップされて20000円に、6歳以上は今までどおり10000円で据え置きです。ぎりぎりの人数で過労死寸前の勤務状態で頑張っている小児科勤務医への評価はこんなものなのです。加算額が10000円と

「5分」という縛りが多大な負担に... さらに小児科に大きな影響があるものとして外来管理加算算定の縛りがあります。小児科は薬だけとか、注射だけという患者さんは少なく、ほぼ全員服を脱がせて診察します。また小児科では患者さん



2)理解力に乏しい子どもの代わりに、付き添いの保護者に説明。

か、20000円というレベルでは、病院側も小児科医の頑張り感謝する気にはならないでしょう。



3)用意しているパンフレットを使い、説明。

ほぼ自動的に外来管理加算を算定している現状を是正する目的で、小児科も道連れのように5分間という縛りかけられると大きな負担になりますし、さらには小児科の経営を大きく圧迫します。私は小児科の専門医として、2分間あれば新米医師の5分よりも内容のある話を



4)カルテは患者さんの重要な記録。記載にはそれなりに時間がかかる。



こんなかつらは、彼女にしか似合わない

「オスカートルシンダー」で私はケイト・ブランシェットを初めて見た。ちょっとその辺にはないような魅力が私を虜にした。「なんか、すこしのが出てきた...」と。そして、2年後に前作にあたる「エリザベス」を観たとき、「こりゃ、本当にすごい」と思った。やはり、彼女はとてつもない存在になった。前作の撮影から10年が経過し、ブランシェット自身が古い具合に貫禄を備え、演じたエリザベス一世に品と迫力を持たせている。衣装もかつては豪華で奇抜だが、そのいずれも見事に似合ってしまうブランシェットは

「是非、小児科医になって」と勧めることが難しい Elizabeth: The Golden Age 今からちょうど10年前、すこしのが出てきた...と。そして、2年後に前作にあたる「エリザベス」を観たとき、「こりゃ、本当にすごい」と思った。やはり、彼女はとてつもない存在になった。前作の撮影から10年が経過し、ブランシェット自身が古い具合に貫禄を備え、演じたエリザベス一世に品と迫力を持たせている。衣装もかつては豪華で奇抜だが、そのいずれも見事に似合ってしまうブランシェットは

ただ者ではない。映画評論家のおすぎは、ある雑誌で「彼女は生きる時代を間違っている」とまで書いていた。こうした歴史ものを観るとき、歴史の知識が皆無だと途中で話置いて行かれそうになるのだが、この映画に関しては、1回目はブランシェットを観るだけでもいいと思う。歴史背景の整理はその後だ。彼女は今後数年、故郷オーストラリアの舞台活動に専念するとか、40代を目前に、映画界の女王は何を見つめているのだろうか。